

令和7年度

「医療安全セミナー・ワークショップ」を開催

オンデマンド配信と集合研修の2種類、主催：厚生労働省関東信越厚生局

医療安全セミナー・ワークショップは、医療安全対策に関する知識の修得、討議等を行うことにより、医療機関の安全管理者等の資質向上と医療の安全性の向上を図ることを目的としています。今年度は、ご都合のよい時間・場所で視聴できるオンデマンドセミナーと、院内の医療事故調査をテーマとした対面集合型のワークショップを開催します。

① セミナーコース：オンデマンド配信

② ワークショップコース※：集合研修

※ワークショップコースを受講希望の方は、セミナーコースのお申し込みが必須です

開催日時	・セミナーコース：オンデマンド配信 10月1日（水）～11月28日（金） ・ワークショップコース：10月30日（木）10時～17時30分
定員	セミナーコース：1,500人 / ワークショップコース：60人
開催方式	・セミナーコース：オンデマンド配信 ・ワークショップコース：集合研修
参加費	無料
対象者	・セミナーコース：関東信越厚生局管内の医療機関の管理者・医療安全管理者・その他医療安全に関わっている方、行政機関職員の方 ・ワークショップコース：関東信越厚生局管内の医療機関の医療安全管理者 ワークショップコースについて、本年度のテーマが医療事故調査制度の院内調査に関するものであることから、院内調査に携わる者（予定も含む）の参加を推奨します。
参加方法	セミナーコース（オンデマンド配信：定員1,500人） こちらからお申し込みください。 ウェブサイトURL https://form.dr-seminar.jp/seminars/hqcfxn/register_form25 ※事務局（委託）：デジストリーム(株)が申し込み受け付けを行います。 ワークショップコース（集合研修：定員60人） 申し込みは終了いたしました。
開催場所	・セミナーコース：参加者へのオンデマンド配信のみ（集合開催なし） ・ワークショップコース：会場 ビジョンセンター市ヶ谷（最寄り駅：市ヶ谷駅） （〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21山脇ビル 2F） ワークショップ会場 URL： https://www.visioncenter.jp/ichigaya/access/
申込期間	・セミナーコース：9月1日(月)～11月28日(金) ・ワークショップコース：9月1日(月)～9月26日(金) ※コースごとに申込期間が異なりますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。 ※いずれのコースも定員になり次第、申し込み受け付けを終了します。
留意事項	※ワークショップコースご希望の場合、必ずセミナーコースにもお申し込みください。 ※本セミナー・ワークショップは、診療報酬に係る医療安全対策加算に関する施設基準における「医療安全対策に係る適切な研修」の一部（不足する要件を補足する研修）には該当しません。 ※セミナーコースは「参加証」の発行は行いません。 ※ワークショップコースは「参加証」を発行します。
問い合わせ先	・セミナーコース：令和7年度医療安全セミナー事務局（デジストリーム(株)内） 電話：03-6240-9269 メール： event@tokyo-seminar-studio.com ※対応時間：土日祝を除く10:00～17:00 ・ワークショップコース：関東信越厚生局 医事課 医療安全調整係 電話：048-740-0754 メール： iryouanzen-kanshin@mhlw.go.jp ※対応時間：土日祝を除く9:00～17:00



セミナーコース（オンデマンド配信）

講演 No.	内容・講師	
講演 1	医療事故性の判断と定型医療事故調査手法	長尾 能雅氏 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授
講演 2	院内事故調査とセンター調査を経験して ～患者遺族の立場から～ 及び 医療事故に遭遇した患者遺族と医療者の経験から ～当事者双方が考える事故対応と精神的支援～	理事長 豊田 郁子氏 理事 山口 由美氏 NPO 法人「架け橋」
講演 3	医療機関における安心・安全な電波利用 ～医用テレメータの電波管理実践ガイドの発行～	加納 隆氏 滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻 客員教授 総務省関東地域の医療機関における 電波利用推進協議会 座長
講演 4	医療機関内部での重大事象の把握と対応	岡田 禎人氏 知多半島総合医療センター 院長
講演 5	埼玉県医療安全支援センターの概要と相談事例	竹内 みちる氏 埼玉県保健医療部医療整備課 医務・医療安全相談担当 主査
講演 6	医療安全支援センターについて	荒神 裕之氏 医療の質・安全学会

- ・ 講演1～6は録画配信となります。（講演6は、令和6年度に配信した内容と同一です）
- ・ 申し込みは先着順です。定員になり次第、申し込み受け付けを終了します。
- ・ 講演時間は1講演30分～60分程度です。（詳細は動画コンテンツをご確認ください）
- ・ **受講を希望する方は、1人ずつお申し込みください。同一のメールアドレスでの重複申し込みはできません。**

ワークショップコース（集合研修）

時 間	内 容	講師・内容等
10：00～10：05	開会挨拶	関東信越厚生局
10：05～10：10	アドバイザー挨拶	横浜市立大学附属病院 医療安全管理部 診療教授 菊地 龍明氏
10：10～17：10	ワークショップ	テーマ 定型医療事故調査手法について ～ばらつきを生まない医療事故調査とは～ 講 師 名古屋大学医学部附属病院 副病院長 患者安全推進部 教授 長尾 能雅氏 ファシリテータ 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 病院准教授 北野 文将氏 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 病院講師 山本 啓央氏 横浜市立大学附属病院 医療安全管理部 助教 植田 瑛子氏
17：10～17：20	総括	横浜市立大学附属病院 医療安全管理部 診療教授 菊地 龍明氏
17：20～17：30	閉会挨拶	関東信越厚生局

- ・ 院内の医療事故調査を円滑に行うために何をすべきか（医療事故に該当するかどうかの判断方法、院内事故調査の手法、報告書の作成方法等）について、ワークショップ形式で学びます。
- ・ セミナーコースの講演1を視聴の上、ご参加ください。
- ・ 申し込み者多数の場合は、早期の締め切りまたは同一機関での参加人数を調整する場合があります。また、令和6年度に同ワークショップを受講されていない方を優先に選考いたします。あらかじめご了承ください。参加の決定については、後日メールにてお知らせします。
- ・ 研修会場までの交通費や昼食費等の経費は、自己負担になります。